

部局名	教育委員会	所属名	社会教育課	所属長名	佐藤 正勝	電 話	481-0304
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3805		事務事業名称	埋蔵文化財調査事業					短縮コード	経常		臨時	3805
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		文化財保護法						
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
・事務事業を開始したきっかけ 文化財保護法や千葉県文化財保護条例を受け、昭和46年に八千代市文化財保護条例を制定し、市民共有の財産である文化財を保護し、その保存と活用のため必要な措置を講じ、それにより市民の文化向上と文化の進歩に貢献すべく事業を開始した。 ・事業概要 埋蔵文化財の発掘調査を行う。 1) 不特定遺跡発掘調査及び整理、2) 公共事業関連遺跡発掘調査及び整理 他													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系		5本の柱（章）	02	人間尊重都市をめざして					
中規模開発が次々と進められており、埋蔵文化財の発掘調査は今後も増えるもの判断します。						大項目（節）	05	文化					
						中 項 目	02	文化財					
						小項目（施策）	03	埋蔵文化財の保護と記録保存					
						細 項 目	01	発掘調査体制の整備					
02	整理事業の推進												
				実 施 計 画 の 計 画 事 業									
計画事業の位置付けの有無				☐	計 画 事 業 期 間		～			計 画 事 業 費	千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	市域（埋蔵文化財）							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成18年度に実際に行ったこと： 中小零細企業・個人の開発事業地が包蔵地と確認されれば確認調査・本調査を実施する。発掘調査終了後は遺物を記録保存し、報告書を作成する。 公共事業に係る発掘調査報告書を1冊発行した。							
	※平成19年度に計画していること： 中小零細企業・個人の開発事業地が包蔵地と確認されれば確認調査・本調査を実施する。発掘調査終了後は遺物を記録保存し、報告書を作成する。 不特定遺跡の発掘調査報告書を発行予定。							
意図 （何を狙っているのか）	埋蔵文化財を保護し、記録保存する。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	埋蔵文化財が記録保存され、後世への文化遺産として継承される。							
区 分				単位	1 7 年度	1 8 年度		1 9 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	市域の面積	k m ²	51.27	51.27	51.27	51.27	
	指標 2							
	指標 3							
活動指標	指標 1	発掘調査した遺跡の面積	m ²	3,491	500	1,190	500	
	指標 2							
	指標 3							
成果指標	指標 1	発掘・調査・整理した遺跡の数	箇所	9	2	1	3	
	指標 2							
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード	3805	事務事業名称	埋蔵文化財調査事業				所属名	社会教育課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			開発行為に伴って、発掘調査は今後も行われる。 平成19年度から、民間開発等で行われる発掘調査を任意団体である遺跡調査会から市の直営に変えて行っている。（経費は事業者負担）			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			発掘調査の経費は開発行為に左右される。遺物・遺構の発見により八千代市の歴史を知ること結びつくという成果があるが、出土された文化財の保管場所の整備、文化財の保護啓発に結びつく活用に課題がある。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
市民の市の歴史への理解。文化財の保護・継承の重要性の認識は、一定得られていると思われる。（「第8回八千代市市民意識調査報告書」平成15年3月）									

所属長コメント	開発が進む中で市内にある貴重な埋蔵文化財について、調査を実施することによる記録保存などを行うことにより、市民の歴史への理解を図ることが重要であり成果が上がっている。今後は発掘調査や記録保存について民間調査機関などの活用を含めた調査体制について検討を検討する必要があるものとする。								
評価調整委員会意見	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
	☐ その他								
☐ 廃止									
☐ 休止									
☒ 現状のまま継続									